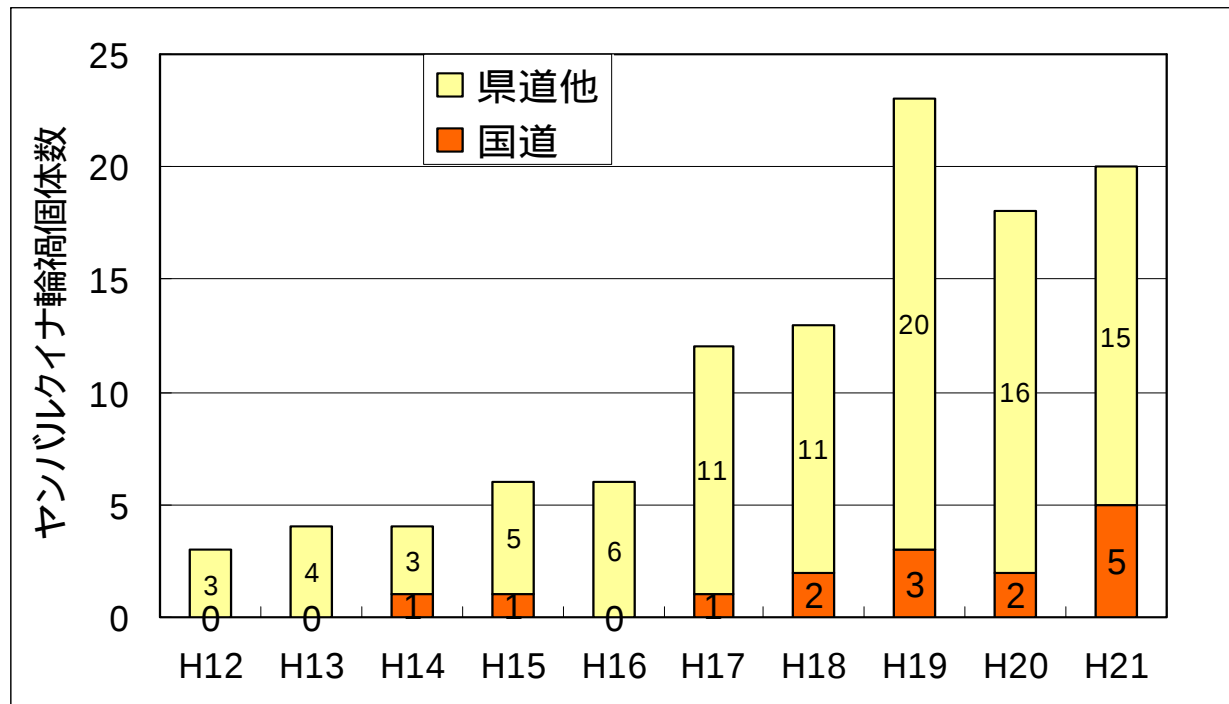


北部国道事務所における ヤンバルクイナロードキル対策

国道58号におけるヤンバルクイナの輪禍

- H14～21年において、国道58号におけるヤンバルクイナ輪禍は計**15件**発生。
- H19年:5月～6月に**3件の輪禍**が発生。
- H20年:3月に1件、11月に1件の計**2件の輪禍**が発生。
- H21年:4月に1件、5月に1件、6月に2件、8月に1件の計**5件の輪禍**が発生。
これまでにクイナフェンス設置区間・設置中に輪禍は発生していない。



クイナフェンス設置状況

○クイナフェンス設置位置(国道58号 奥～辺戸間)

4.9kP付近
(約300m区間)



2.0kP付近
(約250m区間)



3.8kP付近
(約250m区間)



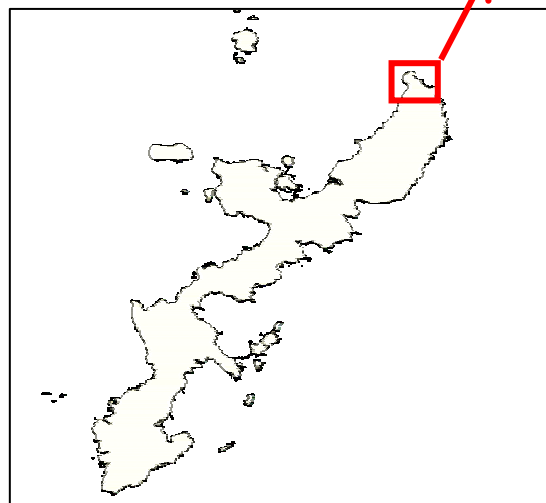
H21新設
3.4kP付近
(約300m区間)



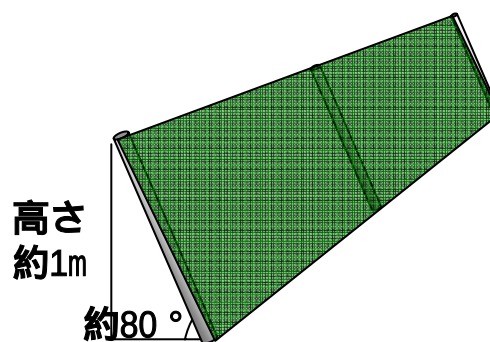
H19年より3箇所を設置開始
H21年に1箇所追加し、現在は4箇所を設置

<繁殖期全期間(3～9月)設置>

- ・2.0kP付近(約250m)
- ・3.4kP付近(約300m)
- ・3.8kP付近(約250m)
- ・4.9kP付近(約300m)



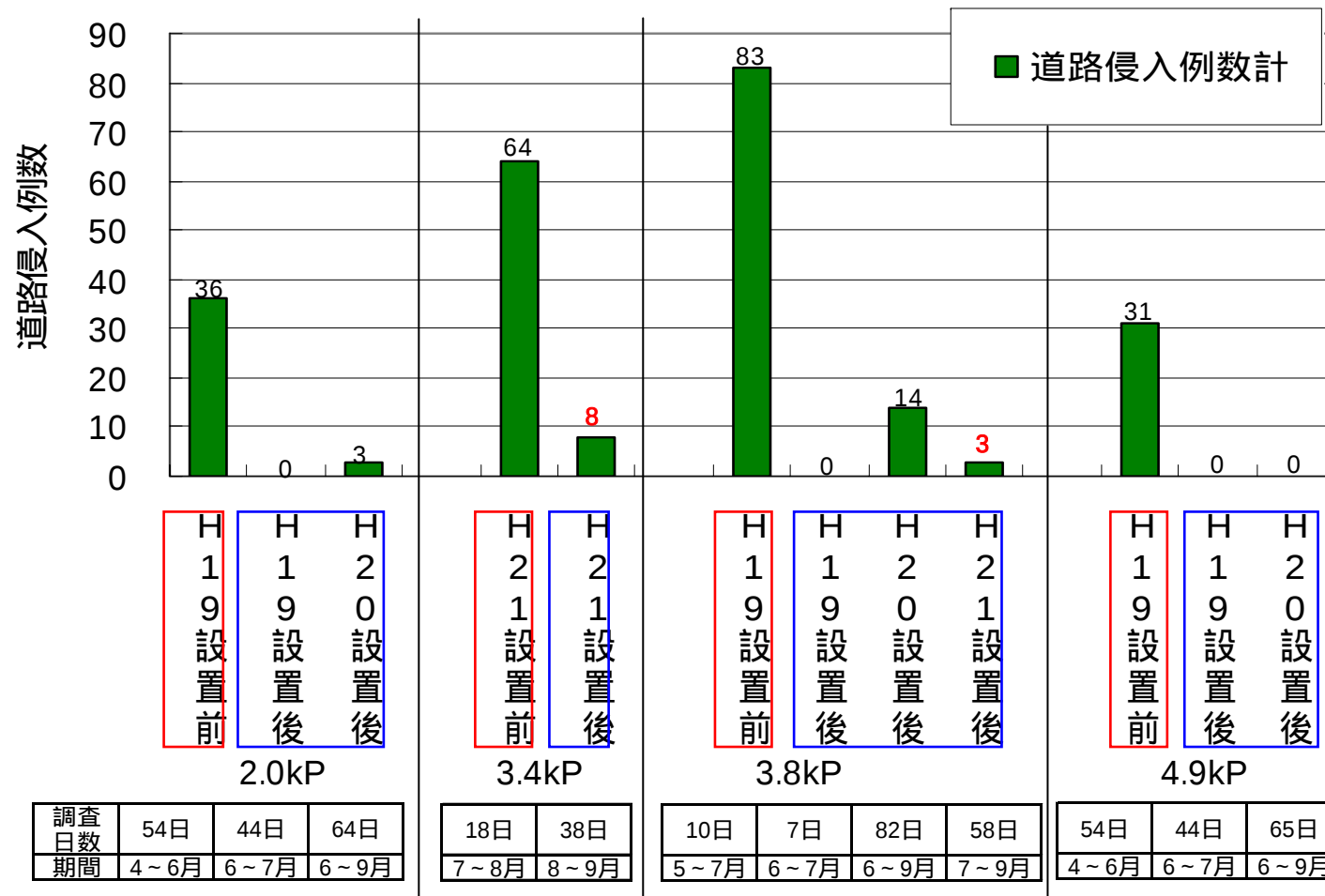
○クイナフェンスの基本構造



フェンス条件	基本構造
構造	自立タイプ、転落防止柵利用タイプ
素材	プラスチック製角目ネット
網目サイズ	10mm程度
色	緑、黒
高さ	約1m
傾斜	θ 80～90°程度(地形条件等に応じて角度を選定)

クイナフェンス設置前後のヤンバルクイナ道路侵入数の変化

- クイナフェンス設置後の道路侵入例は、いずれも設置前より大幅に減少した。
- H21のクイナフェンス設置後は、フェンスの飛越や潜りぬけ、端部からの回り込みなど、計11例の道路侵入が確認された。



ヤンバルクイナの道路への侵入状況(H21)

- **道路への侵入**(フェンス飛越、林道入口開口部+フェンス端部からの侵入)が計**11例**(全確認数146回の**8%**)確認された。
- 11例中**5例はフェンスを飛び越える**ことによって道路に侵入した。

クイナフェンス新規設置区間(3.4kp付近)
ヤンバルクイナ1個体が道路内に侵入後、自動車に驚いてフェンス外へ飛越し脱出する様子。



そのままフェンスを飛び越えて道路外へ

フェンス設置前に頻繁に道路横断が確認された地点において、フェンス設置後も飛越による道路侵入が確認された。
(写真は3.9kp)



道路外から飛び上がり、フェンスの張られた防止柵の上へ



ヤンバルクイナの道路への侵入防止対策

- フェンスの飛越が確認された区間においては、鳥避けテープを設置した。
テープ設置後は、飛越及び道路への侵入はなくなった。

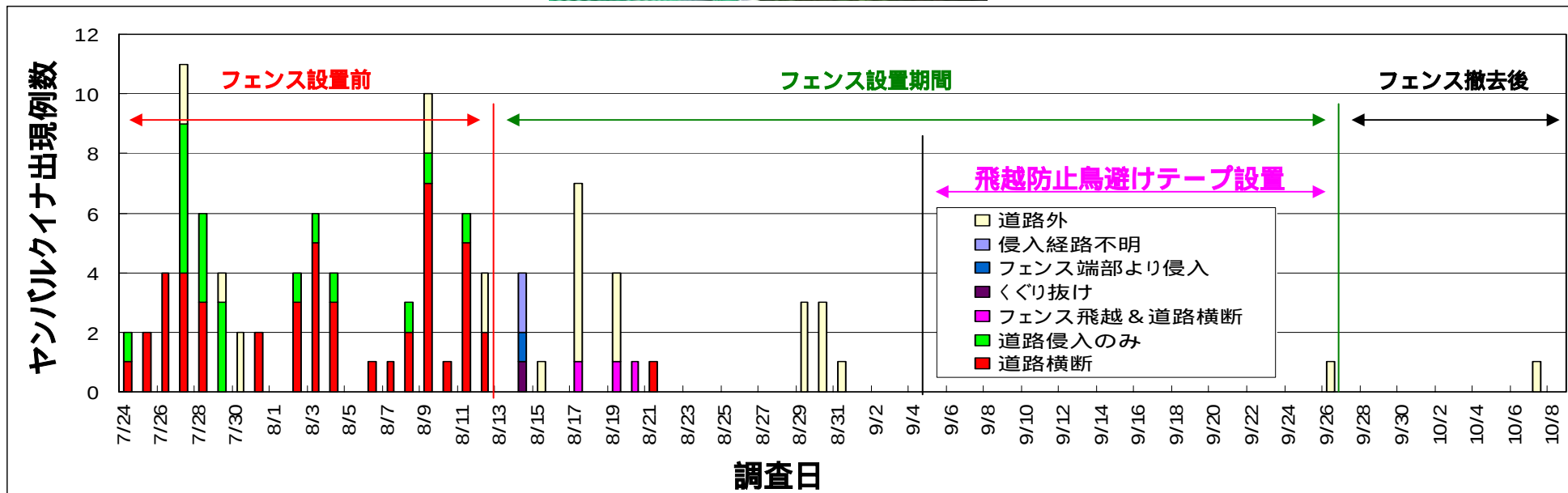
転落防止柵利用区間



フェンス自立タイプ



鳥避けテープ



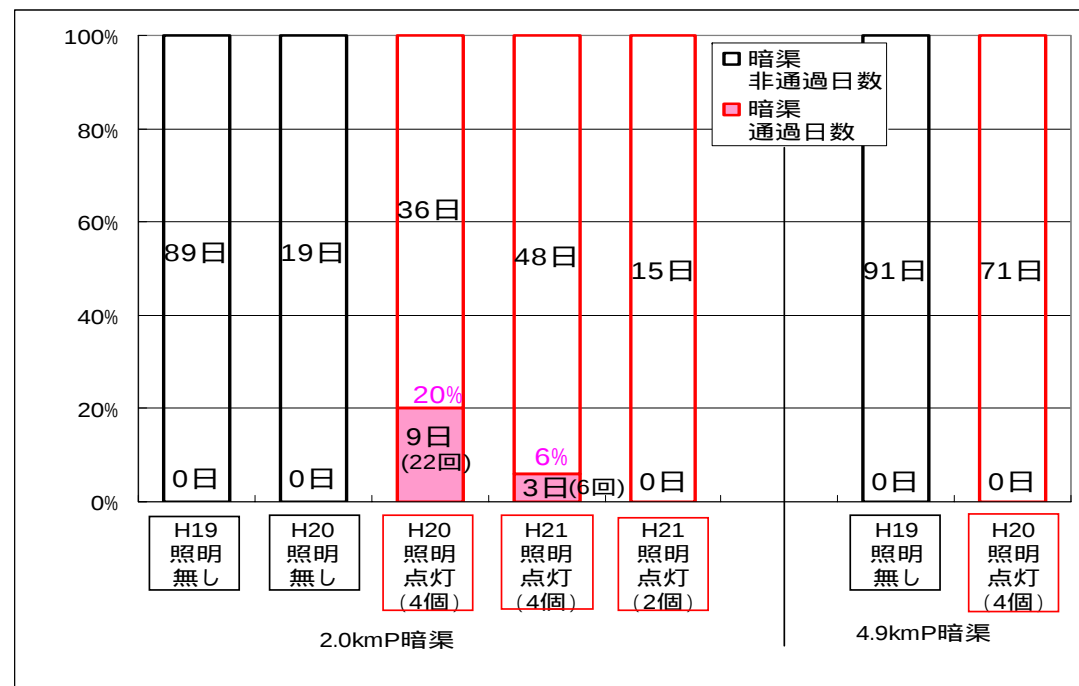
クイナフェンス新設区間(国道58号3.4kP付近)調査期間の確認例数の推移

クイナフェンス設置による移動分断の対策 ～ 既設の道路下暗渠への照明設置 ～

- 既設の道路下暗渠の活用を検討
- H20年度調査において、**照明4基点灯時にのみ、22回の暗渠横断を確認**
- H21年度調査でも引き続き、**照明4基点灯時に6回の暗渠横断を確認**
→ **照明2基点灯に減らしたところ、暗渠横断は確認されなかった**
- H22年度は照明を2基設置し、横断状況についてモニタリングを継続中



暗渠照明設置状況
(40W昼光色蛍光灯)

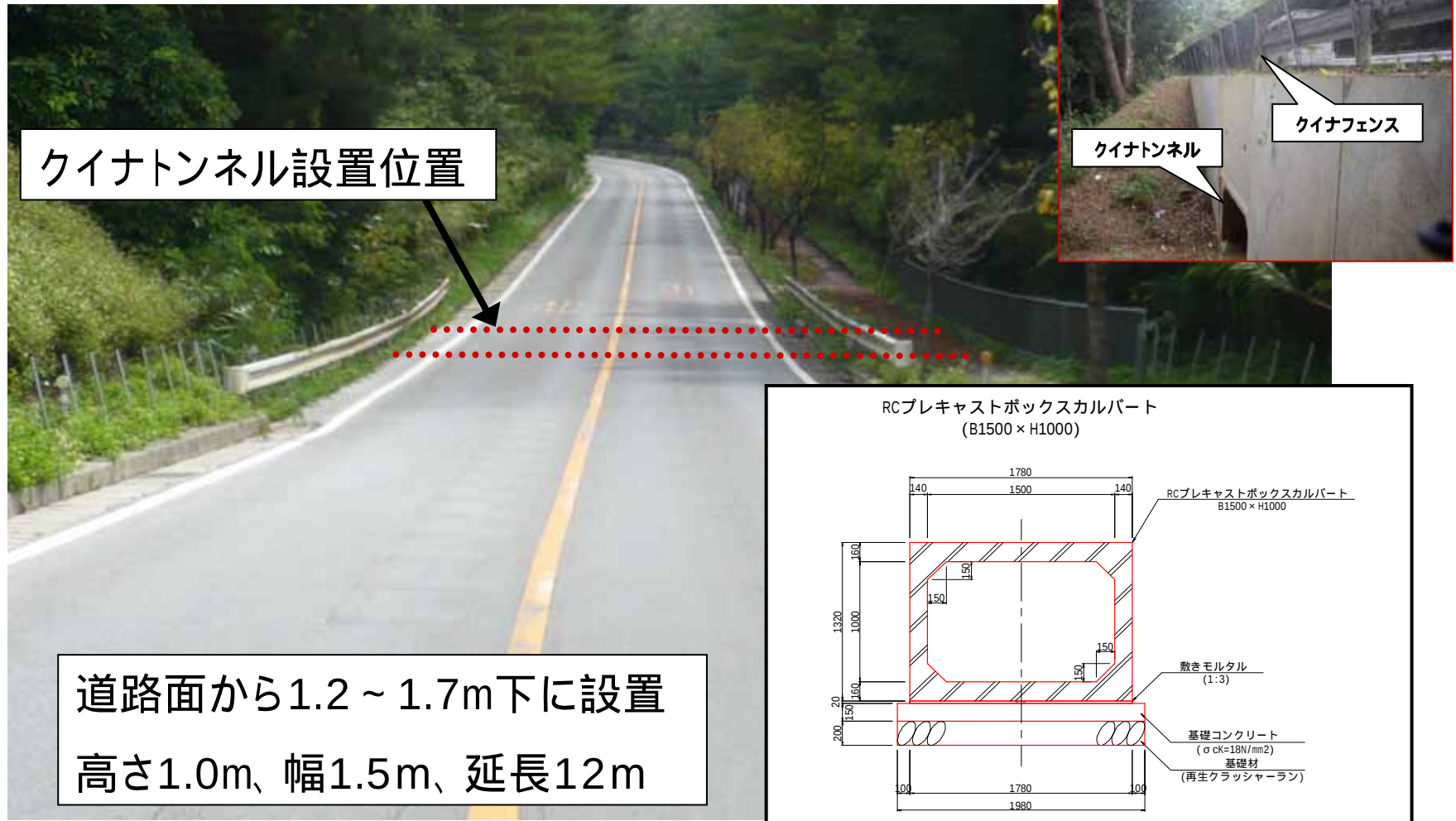


ヤンバルクイナの暗渠通過率

クイナフェンス設置による移動分断の対策

～ 道路下横断通路新設 ～

- クイナフェンス区間のうち、横断路となる既設の暗渠がない区間について、横断通路(クイナトンネル)を新設(H22.1月完成)

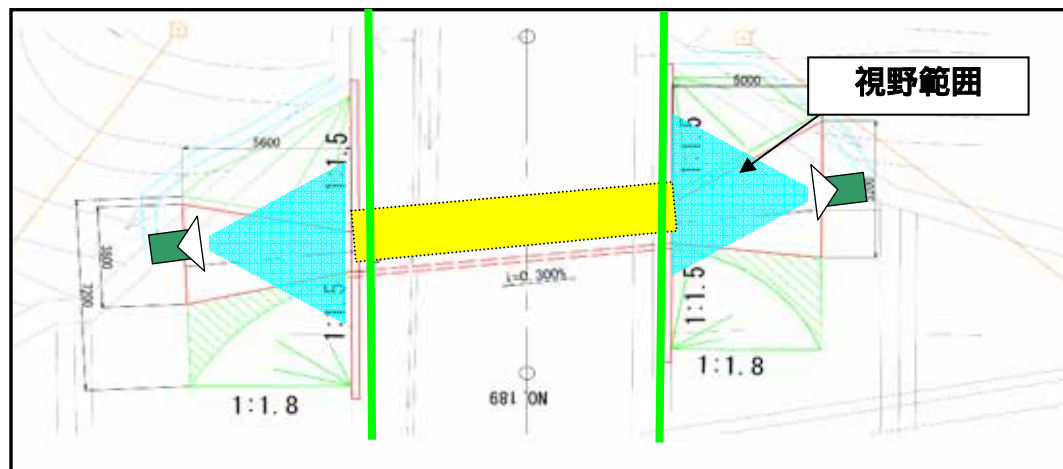


道路下横断路新設箇所のモニタリング調査

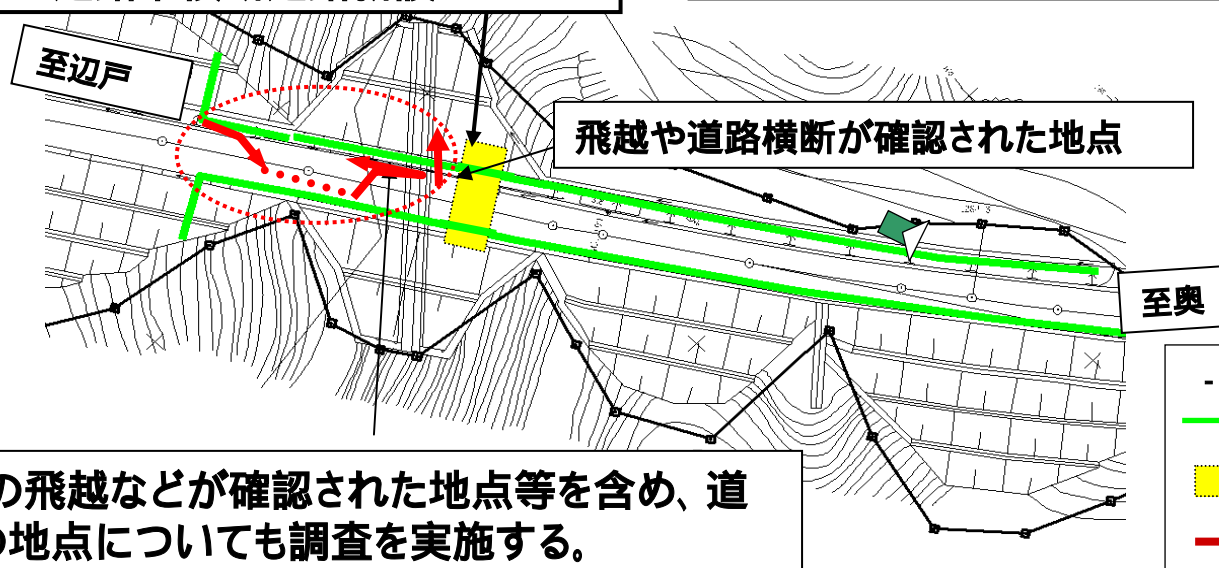
現在、道路下横断路新設箇所のモニタリング調査を実施中。



道路下横断通路新設



道路下横断路新設箇所の両端にカメラを設置



- 凡例 -

— : クイナフェンス

■ : クイナトンネル

— : ヤンバルクイナ確認地点

道路下横断路新設箇所でのモニタリング調査結果

- ・完成後の3月より事後調査を2週間実施し、4月より再度事後調査を実施中。
- ・ヤンバルクイナのクイナトンネル内への進入を確認した。



↑ ヤンバルクイナのつがい

ヤンバルクイナ以外にも開口部で
ノグチゲラの採餌を確認

